

議会だより

う

ち

こ

vol. 53

令和7年6月  
発行

# 議会新体制決定！

P2 ~ P4

1月・2月臨時会、3月定例会 P6 ~ P9

委員会報告 P10 ~ P12

令和7年度当初予算 P13

一般質問(5名) P14 ~ P19

ふじこそ

【藤社地区から見える雲海】

モデル：芽かぎ作業に勤しむ大松儀一さん





## 内子町議会 新体制でスタート

任期：令和7年5月1日～令和11年4月30日

任期満了に伴う内子町議会議員選挙が4月15日告示、20日投開票されました。  
定数13人に対し17人が立候補。現職10人、新人3人が当選しました。

当日有権者数は12,622人(男6,027人 女6,595人)  
投票者は8,325人 投票率65.96%でした。

### 議長・副議長就任のあいさつ



議長  
いずみ ひろとし  
9 泉 浩壽  
(68・小田)

①5 ②無所属  
③今回より定数が2名減の13名となりました。内子町議会各議員の仕事は増えますが、得意分野で能力を発揮してもらい、力を合わせていきたいと思っています。現在、我々が直面している課題は多く、少子高齢化、人口減少問題、公共交通体系の改善、農林、商工業の振興問題等、多岐にわたっています。議会として、これらの課題に真摯に対応して、地域の明るい未来を築くため、住民目線に立ち、議会運営に全力を尽くしたいと思っています。行政と連携し、地域発展と町民の福祉向上に努めてまいります。よろしくお願いします。



副議長  
おおき たけし  
10 大木 雄  
(74・内子)

①5 ②無所属  
③議会基本条例を遵守し、三元代表制の意義を十分理解し行政への監視の目を緩めることなく活動し、活発な議論の場を設け、コミュニケーションを密に行い、議長をしつかり補佐し、スムーズな議会運営ができるよう努め、公聴広報活動にも力を入れたいと思います。



①1 ②無所属  
3 西口 邦彦  
(69・小田)

③町民の皆様が、住み心地が良い町、住み続けたいと思える町、郷土愛に満ちた町になるよう頑張っています。



①2 ②自由民主党  
4 城戸 司  
(41・五十崎)

③ずっと住み続けたい、帰ってきたと思える町にするため、全力で頑張ります。引き続きよろしくお願いします。



①3 ②公明党  
5 向井 一富  
(67・内子)

③地方を取り巻く環境はますます厳しくなる。A(安全)A(安心)O(大いなる希望)と、勝関を上げ頑張りたい。



①4 ②無所属  
6 久保 美博  
(72・五十崎)

③皆さんの声を大切にし、引き続き議会改革に取り組みとともに、住み良い町づくりを頑張ります。



①4 ②無所属  
7 森永 和夫  
(73・五十崎)

③「内子は活かす！五十崎は伸ばす！小田は守る！」税金の使われ方を厳しくチェックする議員の役割をしっかりと果たします。



①4 ②無所属  
8 菊地 幸雄  
(75・内子)

③若者が町内に残り、行ってみた町、安心して住み続けられる町づくりを目指します。



①5 ②無所属  
11 山本 とおる 徹  
(80・内子)

③議会議員としての自覚を持ち、町の発展に寄与したいと思っています。特に力を入れたいのは、山間部の水道・町道の整備等です。



①7 ②無所属  
12 下野 安彦  
(65・五十崎)

③町民の皆さまと一緒に「ハハラ」どきどきする議会になるよう、今までどおりブレずに頑張ります。



①7 ②無所属  
13 山崎 正史  
(71・内子)

③人も地域も活力があり、光輝く町づくりのために、住民と行政と議会が協働して、住み続けられる内子町になるよう目指します。



①1 ②無所属  
1 酒井 勝也  
(46・内子)

③新人議員らしく、「町民視点」を大切に、皆さんの声にしっかりと耳を傾け、共に歩む町政を全力で築いてまいります。



①1 ②無所属  
2 松田 修  
(64・内子)

③私が町議会議員を目指したのは「内子愛する」気持ちです。愛する内子をより良い町にするため、私は働きます。

①当選回数  
②所属  
③抱負

議席番号・氏名  
(年齢・地区)

※年齢は5月1日現在のものです。



## 当選から初議会までの流れ

4月20日の当選発表後、初議会が行われるまでの間、議員には様々な研修等があります。ここでは、そのようすを簡単に説明します。

CHECK!

### 初議会とは

一般選挙後に初めて招集された議会の会議のことをいいます。議長、副議長の選挙や議席の指定、常任委員の選任などを行います。初議会は、臨時会にあたり、任期開始後、議会が本格的に活動できる体制を整えるために必要な会議です。議長が決定するまでの間、議長の職務は「臨時議長」（当日議場に出席している最年長の議員）が行い、議長決定後は新しい議長と交代し議事を進めます。

## 当選証明書交付式（4月21日）

選挙管理委員長より、当選証書を受け取ります。

これをもって正式に議員として証明され、5月1日から活動を行います。



当選証書を受け取る新人議員

## タブレット研修会（4月24日）

内子町議会では令和2年度より、ペーパーレス化推進、事務効率化のため、タブレットを使用して議会運営を行っています。

利用方法の説明を受け、早速5月1日に実施される臨時議会で使用します。

また、議場での作法や、配信システムの説明なども行われました。



実際にタブレットを使っの操作研修



議場での作法や配信システムの研修

## 議員当選者懇談会（4月25日）

初議会の運営を円滑にするために、議事の運営方法や、関係法令や規則、条例などについての説明を受けます。

座長（年長議員）により懇談会が進行されます。



議会事務局長より説明

内子町議会委員会条例第2条で4つの常任委員会を、第5条で議会運営委員会を置くことが定められており、各委員会の委員は次のとおりです。

◎委員長 ○副委員長

### 総務文教常任委員会

定数 7人

財政・消防・選挙・教育・他の常任委員会の所管に属さない事項を審査します。

◎向井 一富 ○酒井 勝也 山本 徹  
山崎 正史 泉 浩壽 久保 美博  
西口 邦彦

### 産業建設厚生常任委員会

定数 7人

産業経済・土木・建築・水道・社会福祉・保健衛生に関する事項を審査します。

◎城戸 司 ○松田 修 下野 安彦  
大木 雄 泉 浩壽 菊地 幸雄  
森永 和夫

### 議会広報常任委員会

定数 6人

議会だよりの編集を行い、町議会で発行します。

◎下野 安彦 ○西口 邦彦  
城戸 司 松田 修 向井 一富  
酒井 勝也

### 予算決算常任委員会

定数 13人

予算・決算に関する事項を審査します。

◎菊地 幸雄 ○向井 一富  
全議員

### 議会運営委員会

定数 6人

議会の適正かつ円滑な運営を図るための委員会です。

◎山崎 正史 ○向井 一富 下野 安彦  
大木 雄 菊地 幸雄 城戸 司

### 監査委員

財務や事業について監査及び検査を行います。町民有識者から1名、議員から1名、計2名が選任されます。

久保 美博

### 一部事務組合

複数の自治体で、行政サービスの一部を共同で行う組織を一部事務組合といいます。内子町では4つの一部事務組合を組織しています。

○八幡浜・大洲地区

広域市町村圏組合 定数 2人

泉 浩壽 大木 雄

○大洲地区広域消防事務組合 定数 6人

泉 浩壽 山本 徹 菊地 幸雄  
向井 一富 城戸 司 酒井 勝也

○大洲喜多特別養護老人ホーム事務組合 定数 3人

泉 浩壽 山崎 正史 松田 修

○大洲・喜多衛生事務組合 定数 3人

泉 浩壽 下野 安彦 西口 邦彦

### 議会事務局

議会に関する事務（庶務、議事、調査）を行います。

高嶋由久子 本田紳太郎 藤本 芽惟

# 臨時会・定例会

1月  
臨時会

第143回臨時会が  
1月17日に開催されました。

2月  
臨時会

第144回臨時会が  
2月12日に開催されました。

3月  
定例会

第145回定例会が3月4日から19日までの  
16日間の会期で開催されました。

## 報告

◎損害賠償について  
大瀬自治センター解体工事現場内  
での一般車両損被害

## 議 認

◎令和6年度一般会計補正予算  
(第6号)の専決処分の承認

## 議 案

◎重要文化財内子座保存修理工  
事に係る工事請負契約

全会一致で

可決



保存修理工事の始まった内子座

## 議 案

◎副町長の選任  
●山岡 敦副町長を再任

◎教育委員会委員の任命  
●大瀬北・大程奈々絵氏を任命

## 選 挙

◎愛媛県後期高齢者医療広域連合  
議員の選挙

◎選挙管理委員会委員及び補充  
員の選挙

◎大洲喜多特別養護老人ホーム事  
務組合議会議員の補欠選挙

全会一致で

可決

4日

町長招集挨拶及び施政方針  
議案提案

●報告1件

●条例の一部改正18件

●指定管理者の指定7件

●工事請負契約1件

●補正予算8件

●当初予算8件

議会広報常任委員会

一般質問(5議員)

総務文教常任委員会

産業建設厚生常任委員会

予算決算常任委員会

各委員長から審査報告

●報告1件

追加議案提案

●教育委員会教育長の任命  
林 純司教育長を再任

発議

●条例の一部改正

議決(44件)

## 指定管理者の指定

◎内子町斎場の指定管理者の指定(総)12ページ

◎内子町共同福祉施設の指定管理者の指定ほか5件(産)12ページ

## 補正予算

◎令和6年度内子町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第1号)ほか補正予算6件(予)10ページ

## 当初予算

◎令和7年度内子町一般会計予算ほか当初予算5件(予)11ページ

## 賛否の分かれた議案

○：賛成 ×：反対

※久保議長は本会議の表決には加わらない。

議 案 名	城戸 司	塩川 まゆみ	関根 律之	向井 一富	久保 美博	菊地 幸雄	泉 浩壽	大木 雄	山本 徹	下野 安彦	林 博	山崎 正史	寺岡 保	議決結果
内子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	×	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
内子町総合交流促進施設の指定管理者の指定について	○	○	×	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度内子町一般会計補正予算(第7号)について(修正動議)	○	×	○	×	※	○	○	○	○	×	○	×	○	可決
令和6年度内子町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について	○	○	×	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度内子町高等学校小田分校寄宿舎特別会計補正予算(第3号)について	○	○	×	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和7年度内子町国民健康保険事業特別会計予算について	○	○	×	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和7年度内子町高等学校小田分校寄宿舎特別会計予算について	○	○	×	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決



## 内子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

現行税額との比較 応能割 所得割 0.9%増、資産割 10.5%減  
応益割 均等割 700 円増額、平等割 1500 円増額



国保は農業などの自営業者や、非正規職員や無業者、74 歳までの定年退職者などが加入している。加入者の平均年齢が高いことから医療費水準が公的医療保険制度の中で最も高く、国保の保険料は中小企業などが加入する協会けんぽなどと比べて 1.5 倍から 2 倍にもなるとも言われている。物価高騰に苦しむ多くの国保加入者、とりわけ子育て世帯にとっては大きな負担となっており、独自で支援策を講じる市町村が増えてきている。当町でも支援すべきだ。

関根 律之 議員

公的保険の場合は個人負担とともに企業も負担し、保険料は折半となっており保険料自体は国民健康保険と類似はない。医療についても、所得に対して医療費も、高額所得者は3割、減額2割の方もいる。保険というのは、国民それぞれがそれぞれを支えるためのもので、病院に行かない人、健康な人でも保険料は払っており、国の保険システムを支えるためには、今の状況にならざるを得ない。保険審議委員会でも可決された変更内容であり十分理解できる。

山崎 正史 議員



議決  
結果

賛成11、反対1で

可決

「議会だより」では全会一致で可決された議案及び、賛否の分かれた議案、討論などを抜粋して掲載します。

## 【議 案】

専決予算・報告以外の議案は各委員会に付託され、審査及び採決後、最終日に議決されました。委員会での審査内容は10～12ページに抜粋掲載しています。

## ◆全会一致で受理・同意・可決された議案

### 条例の一部改正

◎内子町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正ほか6件(総)12ページ

◎内子町飲料水供給等施設条例の一部改正ほか8件(産)12ページ

付託  
先

(総)総務文教常任委員会  
(産)産業建設厚生常任委員会  
(予)予算決算常任委員会





## 内子町総合交流促進施設(オーベルジュ内子)の 指定管理者の指定について



2団体応募があったが、選定委員会での協議内容や、毎年更新しているとされる指定管理者運営評価シートも示されないのでは現在の団体を継続して指定するのがよいと判断できない。また、温浴施設は住民利用と福祉増進の目的に寄与しているが、宿泊施設では町民の宿泊やレストラン利用はない。提供する食材に町産農産物等を使っているとされるが、その量や金額は示されず、町民への寄与度合いは判断できない。観光ホテル部分は売却等を検討しては。

関根 律之 議員



町民が町内の宿泊施設を利用するというのは、ごく限られた利用で、ほとんど利用しないのが当然である。民間の宿泊施設も含めて、町外の方が宿泊していただいたら、総合的に大きな意味で内子町にメリットが大きいと思う。今回指定管理者に指定する団体においては、過去においても十分その役目を果たし、選定委員会でも慎重に審議をされて決定をされている。

林 博 議員

議決  
結果

賛成11、反対1で

可決



## 令和7年度内子町国民健康保険事業特別会計予算について



本予算案は国民健康保険税の新しい改定税率に基づくものなので、改正条例案に反対したのと同じ理由により反対。

関根 律之 議員



特別会計である国民健康保険事業特別会計では、国保税が上がる可能性があるが、予算の中で運営を行うことが本来の形である。また、令和7年度も一般会計から約1億4300万円を繰り入れて運営する。その繰り入れを11年度頃にはどのように減らし、国保税を調整していくかが今後の課題である。

山崎 正史 議員

議決  
結果

賛成11、反対1で

可決



## 令和7年度内子高等学校小田分校寄宿舎特別会計予算について



町民以外の寄宿舎生約50数名の保護者に対し、一人あたり約35万円にもなる金額を町の予算で支援するのは過大だ。小田分校全生徒のうち町内出身は3割に満たず、小田出身の高校生の半分は小田分校以外に通っている。今後町内の子どもが減っていくなか、小田出身の中学生がどの程度小田分校に通いたいかを調査したうえで、小田分校支援策を総合的に考えるべきだ。寮費の徴収金額も見直す時だ。

関根 律之 議員



小田分校は学校存続を最重要課題とし、「地域みらい留学」による全国募集に力を入れており、行政と地域が一体となり分校存続に努めているのも特徴である。「おばちゃん食堂」や地域の有志による食事会など、様々な取り組みが行われ、全国から集まった寮生との交流が新たな絆を生んでいる。小規模校だが、進学希望の生徒にはマンツーマン指導を行うとともに、県内外への就職にも熱心に取り組んでいて、令和6年度には33名の卒業生のうち30名が進学予定である。昨年度の卒業生が東京大学に合格したとの吉報もあり、多様な学びの場を提供できる環境が整いつつある。本予算によって、生徒が安心して学び成長できる環境をつくり、地域活性化に寄与できると考える。

泉 浩壽 議員

議決  
結果

賛成11、反対1で

可決

## 令和6年度一般会計補正予算に対して修正動議を提出！

生活応援プレミアム付きデジタル商品券事業委託に1483万円、商品券5000万円を交付する事業に対して、その実施費用6483万円を減額する修正案(修正動議)が提出され、採択の結果、賛成多数で可決されました。

### 修正動議趣旨

発議者 内子町議会議員 泉 浩壽、大木 雄、城戸 司

本事業は、スマホなどのアプリを活用してデジタル商品券を販売し、物価高騰の影響を受けた生活者、また商店を支援するというものだが、実際には、スマホ等を使い慣れていない高齢者等や、QRコード決裁を導入していない商店にとっては、恩恵を受けられない可能性があり、物価高騰で生活に困っている町民を支援するという、本事業の目的を十分に果たすことはできないと考える。

また、今回のデジタル商品券は、これまでの紙ベースの商品券を発行するより、経費が2倍程度かかり、紙ベースにすれば、その余剰経費を商品券の原資に充てることも可能である。

よって、もっと町民の声を幅広く聴きながら計画内容を精査し、より広く町民が利用できるよう再考を求めるため、デジタル商品券事業に係る予算6483万円を減額するものである。



## 令和6年度内子町一般会計補正予算(第7号)について(修正動議)



紙ベースにすることは、時代に逆行することになる。デジタル化が進まない自治体は若者が流出するのではと危惧する。商店主や高齢者の方へスマホ対応への講習会や勉強会を行い、デジタル社会に対応できる自治体に向かっていくことが大切である。伝統文化的なものはしっかりと残すべきだが、変えるところは変えていくべきで補正予算に賛成する立場から反対。

下野 安彦 議員

2年ほど前にキャッシュレス決済事業をしたが、それからこれまでの間、店舗や消費者に普及させることをしてきたのか。店舗側、消費者側ともに手違いによる未決済も想定される。将来的にデジタルに向かうのは良いと思うが、現状ではまだ紙が正しいと考える。

城戸 司 議員



物価高騰対策としてこれまでも様々な支援策が行われてきたが、給付対象に該当せず恩恵がないと感じる層も一定数おり、今回はそこを主な対象としている。またこの機会に町内商業のデジタル化を進めたいという町の意図は十分理解できる。導入コストは国の補助を活用できる。紙の場合の事業者や町の負担、事務経費などもあわせて判断する必要がある。

塩川 まゆみ 議員

この事業はあくまでも物価高騰に対しての経済支援ということで、町民全ての方が利用できる場をつくるべきだ。デジタル決済の重要性は理解するが、別事業として今後新たに取り組むべきである。また、一時販売で売れ残った場合、住居地に関係なく先着順に二次販売を行うとのことだが、なぜ町外の方に販売をしなければならないのかという疑問がある。

大木 雄 議員



今後、国の方針に基づきデジタル化が進展する。令和3年からの給付金事業はほとんどが非課税世帯を対象としている。今回の事業は、全ての住民が自らQRコードアプリをインストールして対応する形式の給付事業である。スマートフォンを持っていない方や操作に不慣れな方もいると思うが、このような事業は今後ますます増加する可能性がある。デジタル社会に慣れていくことが、今後の社会の姿である。

山崎 正史 議員

今回の国の交付金は物価高騰の影響を受けている生活者支援が目的なので、すでに3万円を給付している住民税非課税世帯以外の方にも広く恩恵が得られるようにする必要がある。特に、最も困窮しているといわれる非課税世帯より少し所得が上の世帯がこぼれ落ちることのないよう、なるべく多くの人に広くいきわたる紙の商品券の方がよい。デジタル決済推進は町単独でも別事業でやるべきだ。

関根 律之 議員



町からの説明で、今まで物価高騰対策は、非課税世帯や高齢者向けに進められることが多く、若者世代から、「平等に物価高だというのに、我々世代にその恩恵が少ない」という声があったとのこと。そのとおりであると思うとともに、デジタル化は今後避けては通れず、この機会にしっかりと進めていく必要がある。

向井 一富 議員

議決  
結果

賛成8、反対4で

可決

修正案を除く原案については  
全会一致で可決されました。



# 予算決算常任委員会

◎令和6年度内子町  
一般会計補正予算(第7号)

町営バス運賃収入

問 バスの利用者が減少し、経営も厳しくなるなかで、今後、効率のいい交通手段を何か考えているのか。

答 総務課  
ライドシェアの導入や、町中を走るデマンドバスなど、現在の課題を解決できる、地域公共交通計画を令和6年度中に策定する予定である。

木造住宅耐震改修等事業費補助

問 耐震診断や耐震工事業業をさらに進めるために、来年度以降、町民に対して、どのような周知方法を考えているのか。

答 建設デザイン課  
現在、内子分庁で耐震シェルトアの展示を行うなど、広報活動を進めているが、さらに今後は、パンフレットの配布や自治会館等へのパネル展示を行うなど、制度を知ってもらう取り組みを進めたい。

◎令和7年度  
内子町一般会計予算

ふるさと納税事業

問 ふるさと納税をさらに進めるにあたり、もっと大手のふるさと納税サイトを取り入れることは検討はされているのか。

答 総務課  
現在、楽天やアマゾンなど、内子町では11サイトで運用しているが、今後も、大手サイトをどんどん取り入れていきたい。

放課後児童クラブ

問 保育園は朝7時から受け入れができるが、小学校に入学後の放課後児童クラブの早朝の受け入れは検討されたか。

答 一こも支援課  
要望があるのは承知しているが、指導員が不足していることなど、課題が多いため実施できていない。しかし、今後、前向きに検討したい。

地域活性化起業人負担金

560万円

問 JTBから、継続して職員の派遣を求めなければならない理由



内子分庁に展示されている耐震シェルター

学校施設トイレ環境整備工事費

問 複数年かけて、学校のトイレ環境の整備を進めるということだが、いつ全てが完了する予定か。

答 学校教育課  
校舎、体育館、屋内運動場など、整備が必要な部分は、令和8年度までに完了する。

生活応援プレミアム付きデジタル商品券事業委託

問 今回のアプリを活用したデジタル商品券は、前回の紙ベースの商品券より、経費が倍かかるとのことだが、なぜデジタル商品券にしたのか。

答 町並・地域振興課  
今後、増えつつあるインバウンド客の対応を含め、キャッシュレス化を進める事業の一環でもあるため。

委員会での採決は、

否決

◎令和6年度  
内子町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

問 医療マッサージ施術所から、医療費の不正請求があったとのことだが、どのような内容なのか。

答 住民課  
職員がレセプト点検で発見したもので、訪問診療を行っていないにもかかわらず、行っているように不正請求していたものである。

◎令和6年度  
内子町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

問 それぞれの給付費が減額補正されているが、その要因は要介護認定者が減ってきているためか。

答 保健福祉課  
ある程度余力をもった予算額を計上しているため、給付実績にあわせて減額補正するもので、要介護認定者が減ったということではない。

◎令和6年度  
内子高等学校小田分校寄宿舎特別会計補正予算(第2号)

問 土日祝日の宿直を2人体制から1人体制にしたとのことだが、平日を2人体制のままの理由は、

◎令和7年度  
内子町後期高齢者医療保険事業特別会計予算

問 歳出における徴収費が昨年度に比べかなり減額されているが、その要因は何か。

答 住民課  
歳出の徴収費は、徴収にかかる事務経費であり、事務端末機器を今年度は購入しないため減額となる。

◎令和7年度  
内子町介護保険サービス事業特別会計予算

問 ケアマネジメントの外部委託の委託状況は、

答 保健福祉課  
町内の居宅介護支援事業所に7カ所、町外の事業所に8カ所委託しており、年間延べ件数が約1600件である。

◎令和7年度  
内子高等学校小田分校寄宿舎特別会計予算

問 小田分校の生徒の人数と、町内出身の生徒、県外者の人数構成は、

答 小田支所

答 小田支所  
基本的には男女生徒がいるため、2人体制が望ましいが、土日祝日は人のやりくりがつかないため、やむを得ず1人体制にした。

◎令和6年度  
内子町水道事業会計補正予算(第2号)

問 重要給水施設配水管耐震化の補助率はどの程度か。

答 建設デザイン課  
補助率は3分の1で、補助事業で実施するのは本管工事のみである。

◎令和6年度  
内子町下水道事業会計補正予算(第2号)

問 埼玉県で下水道管に起因する陥没事故があったが、内子町の下水道管は、どの程度の大きさなのか。

答 建設デザイン課  
浄化センターに向けてのまとまった汚水を溜めて送る管路で、管径は500ミリ、町の中を流れる管路は150ミリが一番多い管である。

委員会での採決は、

可決

県外生徒が29人、町内を除く県内生徒が31人、町内の生徒が22人で、合計82人である。

◎令和7年度  
内子町水道事業会計予算

問 水道施設の耐震化も重要だが、水道管の耐用年数や老朽化などを考慮して工事をするべきだと考えるが、今後どのように整備を進める方針なのか。

答 建設デザイン課  
老朽化と耐震化を並行して行っているが、あわせて有収率の向上も進めており、優先順位をつけて、平準化を図りながら整備したい。

◎令和7年度  
内子町下水道事業会計予算

問 2基あるオキシデーションディッチのうち、1基のみ、耐震実施設計を予定している理由は何か。

答 建設デザイン課  
施工年度の違いで、2基のうち1基はすでに耐震化済みである。

委員会での採決は、

可決

# 令和7年度 予算成立

## 一般会計

前年度と同額の**100億3000万円**



令和7年度当初予算は、継続事業や義務的経費を中心とした予算編成となっています。  
第3期内子町総合計画及び町長公約の事業推進に係る予算は、6月補正予算で対応予定です。

## 特別会計・公営企業会計予算

特別会計区分	令和7年度	前年度比較
国民健康保険事業	17億6404万円	▲1億9891万円
後期高齢者医療保険事業	3億233万円	▲116万円
介護保険事業	28億6267万円	▲20万円
介護保険サービス事業	1413万円	71万円
内子高等学校小田分校寄宿舎	4641万円	504万円
合 計	49億8961万円	▲1億9450万円

※表の合計金額については、端数処理を行っているため、一致しない場合があります。

水道事業会計	令和7年度	前年度比較
収益的収支	収 入 4億4058万円	1万円
	支 出 4億2693万円	372万円
資本的収支	収 入 2億9607万円	▲4416万円
	支 出 3億8070万円	▲4391万円

下水道事業会計	令和7年度	前年度比較
収益的収支	収 入 2億9466万円	▲869万円
	支 出 2億9466万円	▲869万円
資本的収支	収 入 1億2950万円	3576万円
	支 出 1億9770万円	5484万円

## 新規事業

- 内子座保存修理事業…………… 2億3714万円
- 内子運動公園野球場内野整備工事…………… 107万円
- 第2期GIGAスクール端末購入…………… 7890万円
- 標準基準システムへの移行対応業務委託…………… 1億808万円

### CHECK!

#### 標準基準システムとは

住民の利便性向上や行政運営の効率化のため、自治体の住民サービスに直結する20業務を、国の示す標準仕様に合わせた標準化システムへ移行するもの。

- 小田深山溪谷におけるインターネット網構築調査委託…………… 237万円
- 道の駅からリジェラート製造機器・冷蔵庫・ショーケース…………… 1578万円
- スキー場改修工事…………… 1980万円
- 小田自治センター空調改修工事…………… 6279千円
- 農業資材価格高騰対策事業補助…………… 440万円

## 総務文教常任委員会

主な付託案件は、国の法律改正（刑法、地方公務員法、マイナンバー法）、及び令和6年8月の人事院勧告に伴い町条例を一部改正するもの。

### 税条例の一部改正

問 マイナンバーカードを利用した書かない窓口支援システムの利用状況は。

答 住民課  
今年2月から導入。約半分の方が利用しており、評価も高い。

### 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

問 災害時に支給される管理職特別勤務手当の支給状況は。

答 総務課  
災害の大きさにもよるが、令和6年度は例年より少ない3〜4日分である。

### 国民健康保険税条例の一部改正

問 今回の改正で税率が上がれば未納が増える可能性もあると思うが、今後の対応は。

答 住民課  
十分に説明して理解を求めるが、状況に応じて減免措置や徴収

猶予、分割納付など、個別に丁寧に対応し、徴収につなげたい。

### 内子町立幼稚園設置条例の一部を改正する条例

問 幼稚園舎の今後の活用は。

答 学校教育課  
未定だが、活用検討委員会のよ



跡地の利用について今後検討

### 斎場の指定管理者の指定

問 斎場の指定管理者から経営が苦しいとの話を聞くが、火葬料金の値上げ等は検討できないのか。

答 住民課  
火葬料金の値上げは町民の負担増につながるので慎重に検討しなければならぬ。指定管理料は来年度から見直し予定。

委員会での採決は、



## 産業建設厚生常任委員会

### 飲料水供給等施設条例の一部改正

上源台共同給水施設の使用量減少に伴い、条例の一部を改正するもの。

問 飲料水供給等施設から除外される具体的理由は何か。

答 建設デザイン課  
極端な人口減少と高齢化により、減菌などの薬品の管理が困難になるなど、地元の方が負担感を感じたことが要因である。

### 総合交流促進施設（オーベルジュ内子）の指定管理者の指定

問 入浴中の事故や、施設に問題があつて損害賠償責任が生じた場合など、町としてどのような対応をするのか。

答 町並・地域振興課  
基本的には指定管理者が対処することになるが、公の施設ということから町も連携して対処していく。

### 共同福祉施設の指定管理者の指定

問 この施設でのミニデイサービスの利用状況は。

答 町並・地域振興課  
昨年実績で年間113回、利用者数は851人である。

### 農村体験宿泊施設（石畳の宿）の指定管理者の指定

問 石畳ゆずりは会は、農産物の加工品製造も行っているところだが、指定管理施設の厨房等を使って、加工品製造を行っても問題はないのか。

答 加工品については、石畳ゆずりは会代表の自宅敷地内の工房で製造している。



指定管理者の決定した石畳の宿

委員会での採決は、





# 町政を問う！

内子町議会  
インターネット配信



内子町議会会議録



## 【質問通告書内容】

**下野 安彦** 議員

◎町長選挙結果と政治姿勢 ◎水道水のPFAS（ピーファス）検査 ◎小田スキー場利用  
◎相続登記の義務化と空き家対策

15ページ

**向井 一富** 議員

◎町長就任一期末の成果 ◎二期目就任にあたって取り組まなければならない課題

16ページ

**関根 律之** 議員

◎災害時を想定した水道・下水道施設の耐震化等の取り組み ◎大地震での指定避難所の防災機能設備等の確保  
◎国民健康保険税の子どもの均等割額減免措置

17ページ

**塩川まゆみ** 議員

◎飼い主のいない猫 ◎来期以降の重点施策

18ページ

**城戸 司** 議員

◎町長の所信 ◎町長選の投票率

19ページ

当記事では「一般質問」の質疑内容について、誌面スペースの都合上一部抜粋となっています。各議員の質問項目については【質問通告書内容】のとおりです。

議会での質問並びに答弁の全文を知りたい方は、下記内子町ホームページ「内子町議会」〔会議録〕もしくは「インターネット配信」にて録画映像配信を行っておりますのでご覧ください。

※会議録のホームページ掲載は「議会だより うちこ」発行から約2ヶ月後となります。ご了承ください。

<https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/16/>

## 私をスキーに連れてって

38年前の映画のタイトルです。

**問** これからの財政運営と政治姿勢は。

**答** 歳入の確保と歳出の削減を徹底し、中長期的な視点で効率的な財政運営に努め、財政の健全化を維持し、町民の皆さんとの対話・交流の中で、この解決策と一緒に考えながら取り組んでいきたい。

**問** 投票率が低いが、年代別や年代性別等の投票数の分析は。

**答** 全体の投票率を下回る年代は、40代から下の若い年代と、80代、90代となっている。一番低かった20代は33・03%となっている。公式LINEを活用することで、若年層にも投票を呼び掛ける。

### 【水道水のPFAS（ピーファス）検査】

**問** 発がん性が指摘される有機フッ素化合物（PFAS ピーファス）の検査はやっているか。

**答** 令和6年5月に国土交通省及び

環境省より事務連絡を受け、町内上水道26水源において検査を実施した。検査結果は、26水源のうち、全てが暫定目標値50ng以下となっており、3水源、知清1ng、五十崎4ng、大久喜2ngであり、目標値50mm以下が検出された。それ以外の水源は、最小単位の1ng以下の検査結果だった。

### 【小田スキー場利用】

**問** スキーを子どもに体験させたいが利用料が高い。オーバージュ内子の風呂のように、子どもを持つ利用者への補助の考えは。

**答** 現段階で町が補助制度を設けるという事は考えてないが、スキー客に対してのアンケートを実施し、ニーズを的確に把握し、指定管理者と協議を進め町民向けの割引料金の設定について前向きに検討する。

**問** 土日祝日にスキー場への送迎車両運行の考えは。



今年は雪が多い小田スキー場

**答** 次期シーズンでの試験的な車両運行も念頭に置いて、指定管理者との間で前向きな協議を進める。

### 【相続登記の義務化と空き家対策】

**問** 「相続不動産の名義変更」が義務付けられたが、空き家対策の進捗状況と、空き家バンクの契約成立状況の成果はどうか。物件等の相談窓口対応と、不動産屋との連携はどうか。

**答** 令和7年2月末現在、空き家バンクの契約成立状況は、制度開始以来、売買17件、賃貸22件の合計39件となっている。相続登記の問題との関連で売買ができなかった案件は無い。不動産業者が扱っている物件の一部を空き家バンクに登録するなど、連携を図りながら進めている。



しもの下野 やすひこ 安彦 議員

### 【町長選挙結果と政治姿勢】

**問** 町長選挙の結果を踏まえての感想は。

**答** 町民の皆様方からご信託を賜り、内子町のかじ取り役を任され、その責任は大変重く、身の引き締まる思いである。



選挙で町民に施策を述べる町長



## 小野植町長一期目 目標達成率6割！



むかい ひとみ 議員  
向井 一富

### 「一期目を終えて小野植町長の重点目標の自己評価を問う」

**問** 一期目を終え、町長就任時、決意されていた8つの項目について、今回の選挙戦で町内をくまなく歩いたなかで、自分の実績をどう評価し自己採点されているか。

**答** 一期目の自己評価は、公約が実現できているものもあるし、引き続き、取り組んでいかなければならないものもある。実現度は6割程度ではないかと考えている。

### 「二期目の就任にあたって、取り組まなければならない課題を問う」

**問** 二期目就任にあたって、取り組まなければならない課題9項目について、具体的な施策は。

**答** 農林業の分野は、新・農業人フェアなどのイベント等を通じて担い手の確保と、新しい栽培技術を積極的に導入していく。

商工業の分野は、町内企業に就職する新卒者に奨励金を給付する事業の創設や企業の設備更新等に支援し販路拡大を図るとともに、町内で創業、起業、事業拡大、事業承継を行う事業者等を応援。町の観光産業を活性化させる。本年度策定した内子町観光振興計画に沿って、「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS・D）」を活用した持続可能な観光地として、質の向上に取り組む。

子育てや教育に関する分野は、婚活イベントの実施、特定不妊治療や不育治療への支援、高校生までの医療費無償化、高校生までの修学旅行経費への支援など、子育て世帯等の負担軽減を図る。放課後デイサービスの充実や児童公園等の整備などを整えていく。

あわせて、小・中学校の教育環境の整備、基礎学力の向上、ふるさと教育による郷土愛の醸成、ALTを増員、英語教育の充実、国際理解の教育を図っていく。移住者の受け入れと企業誘致では、オンラインコミュニティ事業

や移住コーディネーター設置により、暮らしの魅力の情報発信と移住相談体制の充実を図り、地域おこし協力隊制度の積極的な活用やワーケーションなど、仕事を切り口とした移住者の受け入れ強化に取り組む。

地域の防災拠点や避難所となる自治会館の建て替え、老朽化空き家の除却、木造住宅の耐震化及び家具の固定化、防災の専門家である危機管理監を地域に派遣し、防災に関する指導、防災士の育成、地域防災力の強化、消防団の機能強化を図る。

高齢者福祉や自治会活動支援の分野では、健診受診率の向上や民間事業者と連携した健康意識の底上げ、就労支援事業所との連携などによる社会参加の促進を図り、高齢者や障がい者、それぞれが役割を持ち、生き生きと過ごす環境整備に取り組む。また、救急医療体制の維持、交通弱者を念頭に地域公共交通網の再構築を図る。

住民活動の分野では、各自治会が策定された地域づくり計画書に基づき活動の支援を行う。

魅力ある風景や生活基盤の分野では、景観まちづくりを推進するため、町のシンボルである内子座

**答** 優先順位は、40年以上経過した管路を中心に耐震化を進めている。

### 「指定避難所等の防災設備確保の状況は」

**問** 非常用発電施設等の確保状況は。

**答** 自治センターには発電施設はない。建設中の大瀬自治センターは、太陽光発電施設により数日程度避難所機能を維持できる計画である。39の自治会館には、ポータブルのガソリンエンジン発電機を自主防災会などが用意している。町では避難所に持ち出しできる発電機を16台所有している。

**問** 断水時のトイレ対策として、緊急用携帯トイレなどの基準はあるか。また、当町での確保の状況は。

**答** 内閣府ガイドラインによると、備蓄数などの参考目標として、最大想定避難者数×5回分×3日分が示されている。当町としては、愛媛県発表の南海トラフ地震被災時の想定避難者数をもとに備蓄目

## 農業・自営業者などが加入する国保の子育て世帯支援を

標数を約3万セットとして毎年備蓄に努めており、現在9千セットを確保している。

**問** プライバシー確保のための仕切板等は何世帯・人数分あるか。

**答** 一人用段ボールベッドには仕切板が附属されており、備蓄は100セットある。



指定避難所になっている東自治センター和室

### 「国保税の子どもの均等割全額免除に必要な金額は」

**問** 令和6年度国保税の子どもの均等割減免対象者数と当町の負担額は。

を将来に残すための保存修理事業を継続するほか、八日市護国重要伝統的建造物群保存地区内の建築物の修理・修景事業に取り組む。

生活基盤の整備は、生活に密接に関わる道路、橋梁、上下水道の維持管理や計画的な耐震化を進め、日常の生活に支障が生じないよう生活の基盤づくりに取り組む。

次世代技術の活用分野では、DX推進計画を策定し、デジタルデバイト対策、デジタル人材確保への取り組みを推進し、生産性や利便性の向上、効率化や省力化、ICTの活用により、窓口改革に取り組む。

環境政策では、ゼロカーボンシティ宣言に基づく脱炭素の取り組み、再生可能エネルギーの導入や環境教育の推進など、次期環境基本計画及び諸計画など、エコロジータウン内子の実現を目指していく。



残したい山村集落の風景

**答** 国は子育て世帯の負担軽減を図るため、令和4年度より未就学児の均等割の半額を軽減する制度を実施している。今年度の軽減対象者数は51人で、町の負担額は15万円。

**問** 国保税には所得割、資産割、世帯ごとにかかる平等割の他に、加入者一人一人に年間約5万円かかる均等割がある。世帯人数に応じて保険料が高くなる仕組みは公的医療保険では国保だけだ。子育て世帯には大きな負担であり、不平等な制度だ。

高校生までの均等割全額免除を令和6年度より始めた自治体がある。当町で実施した場合の減免対象者数と金額の試算は。

**答** 18歳以下の国保加入者数は259人、仮に均等割を全額免除した場合に必要な試算は615万円。

### 【最後に】

町並み・村並み・山並みの美しさは、国保加入者である農業や個人商店など自営業の方の暮らしの営みがそこにあるからだ。子育てをしながら農業などの生業を続けていくために、負担が大きい国保税の子どもの均等割減免を要望する。

**問** より命に関わるという意味で、病院や福祉避難所が優先度は高いのでは。

**答** 国は能登半島地震における上下水道施設の被害と復旧の長期化を受け、上下水道の急所施設や避難所等の重要施設に接続する管路について、耐震化を推進する計画の策定を求めている。当町では、自治会等の指定避難所のほか、病院、福祉施設避難所など52施設を重要施設として設定している。



# ドイツに学んで動物福祉の先進自治体になろう



しおかわ 塩川 まゆみ 議員

## 【飼い主のいない猫】

**問** 町内の至る所に飼い主のいない猫の問題がある。町としての現状認識と今後の対策は。

**答** 近年、手術件数は増加し協力者も増えているが、猫が安全に生きるためには地域の理解や適切なえさやりが必要。町として広報などを通じた啓発を進め、不幸な猫を増やさないための取り組みを続けていく。

**問** この問題は地域の環境課題でもある。県内最高額の避妊去勢手術助成などは評価するが、依然としてボランティアの個人的負担は非常に大きく、適正飼養や動物愛護法の住民理解も十分とはいえない。全国には地域猫活動支援として捕

獲活動やえさ代などを助成したり、自治体として寄付を募るところもある。もう一歩進めた支援策は。

**答** 町ではまだ啓発が十分ではない。まずは住民意識を高め、寄付の集め方なども含めて検討したい。

**問** ドイツのローテンブルクとは姉妹都市として交流しているが、ドイツは世界でも有数の動物福祉先進国である。その動物福祉精神や取り組みをもっと積極的に学び、日本における動物福祉の先進自治体を目指しては。

**答** しっかりと検討して、よりよい方法があれば対応したい。



のホームページです。ローテンブルク（動物のホーム）にはヨーロッパ最大のティアアハイムがあります。

## 【来期以降の重点施策】

**問** 農林業の担い手確保の具体的な支援事業は。

**答** 林業事業体への就業や福利厚生支援を実施。中学生向けのオンライン見学や大学との連携プロジェクト「林ターン」も展開している。農業では新規就農や親元就農支援制度を推進。今後もイベントや研修支援を強化し、持続可能な農林業の環境整備に取り組む。

**問** 商工業の活性化について。既存企業の人手不足問題への対応は。

**答** 新卒者の地元就職を促進するため、奨励金の活用や企業説明会などを実施。労働環境の改善や柔軟な働き方の導入を推進し、商工会や関係機関と連携して人手不足対策を行っていく。

**問** 町内企業に就職する新卒者への励金給付事業の創設とあるが、既卒者や中途採用については。

支援の充実を図りたいと考えている。

環境的支援では、保育士の適正な採用、配置と研修への参加等によるスキルアップを図り、保育環境の充実を行うとともに、ALTの拡充を行い、子どもたちの英語教育の充実と国際的な視野を持つ子どもの育成や、5歳児健康診査を実施し、子どもたちの健やかな成長に寄り添うなど、子どもの成長に合った環境面での支援を行いたい。

## 【投票は「日本国民」の権利です】

**問** 投票率を上げるため、投票所の駐車場などで催しの許可や投票証明書のようなものを発行しては。

**答** 投票率を上げるため、期日前投票期間中や投票日当日に、公共施設などでのイベントの開催の申し込みなどがあった場合には、実施の可否について、協議、検討をする。催しについては、投票所に付帯する施設等での演奏会をはじめ、スポーツ大会や、飲食を伴うイベ

**答** まだ制度設計中であるが、新卒者に限らない対応を検討している。

**問** 教育関連。子どもたちの基礎学力の向上を図るとあるが、それに資する具体的な内容は。また指導に必要な人員の確保と教員の負担軽減をどう考えるか。

**答** 第5期学力向上推進プランに基づき、学校ごとの学力向上計画を策定し、授業改善やICT活用、読書活動の充実などに取り組んでいる。また教員の研修機会を設け、教育の質の向上を図る。教員の負担軽減策としては、スクールサポートスタッフの増員や放課後学習支援の拡充を進める。コミュニティスクールの活用も広がっており、今後も学校、家庭、地域が協力して子どもたちの学びを支えていく。

**問** 行政サービスは申請主義が基本で、必要な人に届きにくい課題がある。特に福祉分野では深刻であり、周知強化に加えプッシュ型の支援も検討すべきではないか。

**答** プッシュ型支援の重要性は認識している。可能なものには導入し、支援が確実に届くよう努める。

ントなど、いろんなことが考えられる。

まずは町と町の選挙管理委員会、そして施設管理者、イベント主催者などが連携をとって、投票所における秩序の保持、また選挙の公平性の確保の観点から慎重に対応していく必要がある。

**問** 投票に行ったら100円オフなど店舗が自主的にやるのは問題なのか。

**答** 自主的にされることについては、おそらく問題はないと考えるが、そのときに選挙管理委員会がどのように関わっていくのかという点については、検討の余地がある。

# 目標は高く！ 目指そう「ふるさと納税」1億円！



きど まる 議員

## 【二期目に期待します】

**問** 2月臨時会で述べた所信の一端を聞くと、町民に目を向けてほしいと受けとれるが。

**答** 一期目は住民の意見も聞きながら、新型コロナウイルス対策も含め、多くの課題の解決に向けて様々な施策を実施した。同じように、二期目においても引き続き住民の声を聞き、政策につなげていきたい。

ただ、限られた財源なので、全ては難しいかもしれないが、一生懸命実行していきたい。

**問** 「ふるさと納税」に力を入れるなど、町が稼ぐことが基幹産業である農林業、商工業がしっかり稼ぐことにつながるのでは。

**答** 二期目は、将来の内子町を担い、支えていく子どもたちの健やかな成長を最優先にすることを軸に、誰一人取り残さない、子どもに寄り添った施策を展開し、妊娠、出産、育児、子育てなど、さらに伴走型の子育て支援に取り組みたい。

経済的支援では、県と共同で実施している人口減少対策事業を中心に新たな支援策も検討するなど、



内子町でも行われていた「選挙割」チラシ



## 自治功労者表彰を受賞



泉 浩壽 議員 大木 雄 議員 山本 徹 議員

在職15年以上の議員で、かつ議会活動を通じ地方自治の進展のために大きな役割を果たしていることが評価され、全国町村議会議長会会長から自治功労者表彰を3名の議員が受賞され、3月定例会の冒頭で伝達されました。

今後ますますのご活躍を期待しています。



- 4日 産業建設厚生常任委員会
- 8日 内子町合併20周年記念シンポジウム
- 10日 全員協議会、議会運営委員会
- 12日 内子町議会臨時会
- 13日 愛媛県町村議会議長会第1回正副会長会(松山市)〈議長〉
- 15日 令和6年度内子町自治会活動研究大会
- 16日 内子町消防出初式
- 19日 愛媛県町村議会議長会第76回定期総会(松山市)〈議長〉
- 21日 全員協議会
- 25日 議会運営委員会



- 4日～19日 内子町議会3月定例会
- 4日 議会広報常任委員会
- 7日 総務文教常任委員会  
産業建設厚生常任委員会
- 10日～12日 予算決算常任委員会
- 12日 全員協議会
- 21日 内子幼稚園閉園式〈議長〉
- 25日 八幡浜・大洲地区広域市町村圏総合議会定例会
- 26日 大洲・喜多衛生事務組合議会  
大洲喜多特別養護老人ホーム事務組合議会  
大洲地区広域消防組合議会
- 27日 議会広報常任委員会
- 28日 全員協議会



- 10日 内子町議会臨時会
- 20日 内子町議会議員選挙



- 1日 内子町議会臨時会
- 14日 議会広報常任委員会
- 16日 全員協議会
- 26日 議会運営委員会

## 議会の主な活動

## 総務文教常任委員会懇談会

地域おこし協力隊員との懇談会

日時：令和7年1月27日(月)  
午前10時から  
場所：内子自治センター  
多目的ホール

町内で活動中の地域おこし協力隊員9名の方々(小田地区3名、内子地区3名、五十崎地区3名)から、活動の内容や日頃思うことなどを聞かせていただいた。



協力隊員全員に参加していただきました

- 現在、
- 自転車を活用した観光振興
- ごみゼロチャレンジ
- 有害鳥獣対策
- からの商品開発他
- せせらぎオリジナル商品開発他
- 小田分校寮相談員
- 小田深山活用



活動報告を行う大川隊員

● 石畳地区景観・農業PR  
● 五十崎風博物館の活用  
を主な担当領域として、町内全域または各地域において地元の方と連携しながら、これまでの経験や知識を生かして活動されているようすがよく理解できた。

町の方も「協力隊の活動成果は町の財産として引き継いでいく」という方針に基づき、日々の活動のサポートに努め、また受け入れ側の地域住民との円滑なコミュニケーション支援にも積極的に取り組んでいる現状について報告を受けた。

山間部地域交通の問題や、町としてのPRなど、町の施策に直結する提言もいただき、大変有意義な懇談となった。

## 臨時会

4月  
臨時会

第146回臨時会が  
4月10日に開催されました。

議  
認

○内子税条例の一部改正の専決処分の承認

○内子町国民健康保険条例の一部改正の専決処分の承認

○令和6年度内子町一般会計補正予算(第8号)の専決処分の承認

議  
案

○令和7年度内子町一般会計補正予算(第1号)

○暮らし応援商品券給付金事業

○エネルギー構造高度化・転換理解促進事業

全会一致で

可決

## 暮らし応援商品券事業可決！

3月議会にて修正動議が提出され、賛成多数で採択された「生活応援プレミアム付きデジタル商品券事業委託」が、「暮らし応援商品券給付事業」に変更となり、採決の結果、可決されました。

詳細については、今後の発行される町広報紙や、ホームページでご確認ください。

### 1. 目的

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた町民の家計を支援するとともに、地域経済の一層の振興を図るため、内子町暮らし応援商品券給付事業を実施する。

### 2. 交付対象世帯

令和7年4月10日時点で内子町の住民基本台帳に記録されている世帯で、かつ、世帯に1人以上令和6年度の住民税均等割が課税されている者がいる世帯

### 3. 内子町暮らし応援商品券について

町内の取扱店舗で利用できる「内子町暮らし応援商品券」を発行し、対象世帯1世帯あたり15,000円相当の商品券を給付



## VOICE

～みなさまのこえ～

内子町只海<sup>ただうみ</sup> 大松<sup>おおまつ</sup> 儀一<sup>よしかず</sup>さん

表紙の写真は、晴天の早朝、標高300mあたりを超すと放射冷却によって発生する雲海のようなようです。

雲海の下は屋前まで日が差さないと思いますが、標高の高い私の家は朝から晴天です。霧が深ければ深いほど雲上は晴天です。自然が豊かで<sup>かんなんざん</sup>神南山<sup>みそぎ</sup>方面の雲海の眺めが素晴らしい五十崎御祓地区<sup>かみふじこそ</sup>上藤社の柿畑で、太秋柿<sup>たいしゅうかき</sup>の芽かぎ作業をしています。

去年はカメムシにやられてさっぱりでしたが、今年は雪も降ったし、気温が下がったから越冬してないと思うので豊作を期待しています。



## 新体制紹介



事務局員 藤本 芽惟      局長 高嶋由久子      書記 本田紳太郎

令和7年4月1日より新体制での議会事務局がスタートしました。

町民の皆さんから信頼される町議会となるよう、議会事務局一同協力してサポートしていきます。

## お疲れさまでした！



前野 良二 前事務局長

令和4年4月1日～令和7年3月31までの3年間、内子町議会事務局長として勤務されました。

4月からは「うちこ福祉館」での勤務となります。ご活躍を応援しています。

## 募集中

「議会」・「議会だよりうちこ」にご意見をお寄せください。また、「議会だよりうちこ」に掲載する季節行事や風景などの写真も募集しています。右記アドレスへ送付してください。

ご利用ください！

【QRコード】

内子町ホームページ「議会事務局」へつながります。



議長のスケジュールと交際費を掲載中！



議会事務局メールアドレス  
gikaijimukyoku@town.uchiko.ehime.jp

## 編集後記

5月1日より議会広報常任委員長に就任しました。読者の皆さんがワクワク、ドキドキしながらページをめくる「議会だより」になるよう、全委員で頑張ります。  
(下野 安彦)

## 【議会広報常任委員会】

委員長／下野 安彦  
副委員長／西口 邦彦  
委員／向井 一富  
委員／城戸 司  
委員／松田 修  
委員／酒井 勝也